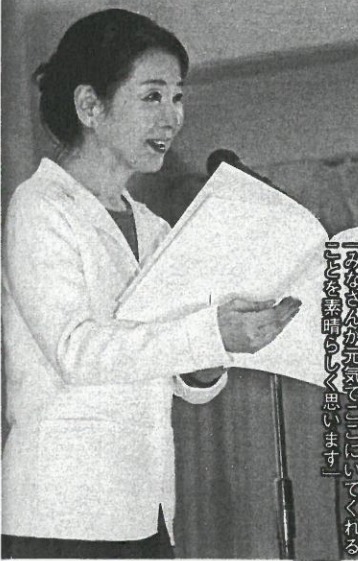


吉永小百合

「困難は、励まし合い、乗り越えましょう！」

東日本大震災で被災した 福島県の都路小・中学校の生徒たち115人に 語りかけた『平和への思い』



都路の子どもたちが和太鼓の演奏を披露。吉永は最前列で見守った



手にしているのは子どもたちから贈られた手作りプレゼント



けんちん汁を振る舞ってくれた地元の女性たちと談笑する場面も



撮影／永田理恵

「みなさんの和太鼓の演奏や舞、そして未来への決意を聞いて胸がいっぱいになりました。これからも困難なことはたくさんあると思いますが、励まし合って乗り越えていきましょう」

東日本大震災で被災した福島県田村市都路町を訪れた吉永小百合。この日は都路小・都路中学校の総勢115人が集まり、和太鼓の演奏や三匹獅子舞を披露。代表の3人が「未来へ向かって決意の言葉」を読み上げると、吉永はあたたかなまなざしを向けていた。

会の終盤には、子どもたちの歓迎に応えるように詩の朗読を行った吉永。選んだのは震災後に福島の子どもたちがつづった2篇の詩。静寂のなか、吉永の澄んだ声が響き渡る体育館は、感動の波に包まれていた。

来年3月10日に、映画出演120作目となる「北の桜守」の公開を控えている吉永。女優業はもちろん、被災地支援や慰問の活動もますます精力的に行っていくようだ。